

# 月刊推進技術

<http://www.lsweb.co.jp/micro-tunnelling/>

月刊推進技術 検索

監修：公益社団法人 日本推進技術協会 <http://www.suisinkyo.or.jp> e-mail:info@suisinkyo.or.jp

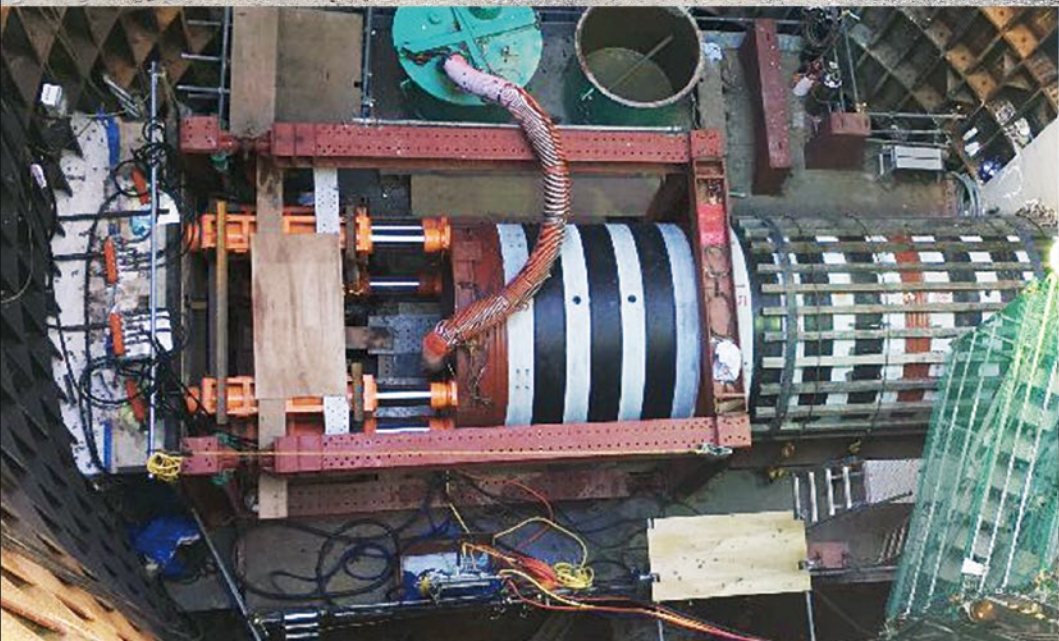
6  
Vol.33 No.6  
2019(令和元年)

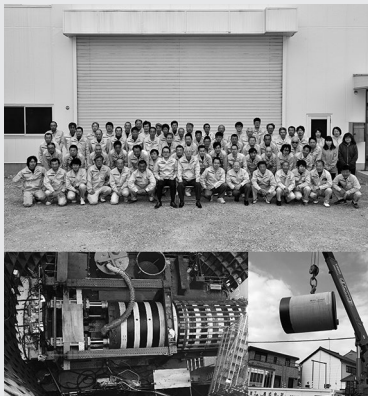
特集

## 進化し続ける推進技術



 丸岩推工 創業50周年





### 丸岩推工(株)

昭和44年(1969)5月13日岩永台三氏により丸岩推工(株)が創業され、昭和、平成、令和と3つの時代を乗り越え今年5月に創業50周年を迎えました。5月13日の創業50周年記念パーティーで岩永信・代表取締役社長は「社員全員がそれぞれの役割・任務を遂行し、強い組織力を発揮できる会社になりたい」とあいさつ。

趣向を凝らした祝宴のさいごに、今年の5月に代表取締役を退く創業者である岩永台三会長が「これからは<sup>せがれ</sup>俺が先頭に立って、日本一の推進業者を目指します。これからもどうかよろしくお願ひします」と語ってお開きになった。

「社員は家族」と常に社員を大切にしてきた会長の意志を引き継いだ、同社の第二幕がスタートした瞬間でした。

(本文82ページ)



国内初の推進工法の採用は、(公社)日本推進技術協会のwebサイトによりますと、およそ70年前の「昭和23年(1948)の大阪ガス発注における旧国鉄・尼崎港線の軌道下横断工事(ガス管用さや管、呼び径600、铸铁管延長6m)の30tf手押しシッブジャッキ1台使用」と記載されています。

刃口式推進工法を原点とした推進技術はその後飛躍的に進化し、泥水式、土圧式(泥土圧式)、泥濃式などの掘進機とともに中押や元押装置、あるいは工法を支える様々な推進管材の開発と性能の向上、また、測量技術や滑材・推進力伝達材(クッション材)をはじめとする周辺技術など、多方面の技術的な開発・改良が行われました。その結果として、世界に誇れる今日の長距離・曲線施工や呼び径4000の大断面推進、1スパンが約1,500mの超長距離・曲線推進を可能とし、信頼性の高い推進技術を成し遂げています。

小口径管推進分野では、昭和50年(1975)、労働省(当時)通達によって内径80cm未満の推進工法では管内の有人作業が制限されました。呼び径800未満の小口径管推進工法は、これを契機として掘削・排土などに省力化が図られ、その実績を飛躍的に伸ばし、その後、塩化ビニル管を推進する低耐荷力管推進工法も導入され、長距離・曲線施工においても実績を挙げています。このほか、小口径管推進分野では、ケーシング立坑など小型化に向けた技術開発も進んでいます。

本特集では、世界最高の技術レベルとされている我が国の超大口径管、大口径管、小口径管推進工法等の最新技術とあわせて、これを可能とした管材や測量技術などの各分野の技変遷とともに最新の技術をわかりやすく紹介し、また、矩形断面推進のほか、改築推進技術や特殊な推進工法事例なども掲載しています。

(編集担当:阿部勝男)

おかげさまで当社は2019年5月に創業50周年を迎えました。  
今後とも丸岩推工株式会社をどうぞよろしく申し上げます。

代表取締役 岩永 信



# 丸岩推工株式会社

本社 / 名古屋市港区築盛町67番地

TEL 052-652-5971(代) FAX 052-652-3260

**岐阜支店**

岐阜県大垣市墨俣町墨俣1156番地  
TEL 0584-62-3366  
FAX 0584-62-3425

**三重支店**

三重県津市庄田町2020番地4  
TEL 059-256-3955  
FAX 059-256-3945

**関東支店**

茨城県つくば市みどりの東7番8  
TEL 029-828-7478  
FAX 029-828-7479

URL <http://www.mriwa.com>

# Topics



▲ 創立50周年記念パーティーの様子



▲ 「社員全員がそれぞれの役割・任務を遂行し、強い組織力を発揮できる会社にしていきたい」とあいさつする岩永社長

丸岩推工(株) (本社：名古屋市港区築盛町67番地) は5月13日に創立50年を迎え名古屋市内のホテルナゴヤキャッスルにおいて、関係企業や社員ら約120名を集め創立50周年記念パーティーを開催した。

パーティーのはじめに岩永信・代表取締役社長は「当社は昭和44年(1969)5月13日に創業しました。そのとき岩永台三会長は33歳で私はまだ4歳でした。本日をもって創業50周年を迎えることができました。このパーティーはこれまで大変お世話になったみなさまに、感謝を申し上げるためにお集まりいただきました。誠にありがとうございました」と感謝の意を表し深々と頭を下

げた。つづいて同社の「これまでの歩み」「岩永会長がこの5月に代表取締役から退くこと」などを説明し「売上20億円を目指し、これからも社員全員がそれぞれの役割・任務を遂行し、強い組織力を発揮できる会社にしていきたい」と決意を示し「これからもさらなるご支援とご協力をお願いします」とあいさつした。

来賓の代表として、岩永社長の同級生で友人である寺西むつみ・愛知県議会議員が「昭和、平成、令和と3つの時代を駆け抜け創業50年という偉業を達成した岩永会長に敬意を表したいと思います。つぎの50年に向けて、さらなる発展をとげることを祈念しこれからも微力ながら応援していきたい」とあいさつし声高らかに「50周年おめでとうございます。乾杯」のご発声で祝宴がスタートした。

続いて2部構成のパネルディスカッションを開催。第1部では岩永会長と親しい菊谷俊樹氏(TSUCHIYA(株))、山田潤一氏(株市川工務店)、青山剛氏(岐建(株))、斉藤たかお氏(名古屋市議会議員)が、第2部では岩永社長と親しい前田忍氏(株名北)、加藤秀樹氏(東名開発(株))、山田久雄氏(株ヤマダ工業)西村貴志氏(松村石油(株))が登場し、本パーティーの司会でもあるフリーアナウンサーの大橋麻美子さん(元中部日本放送)がパネラーからたくみな話術で会長と社長のエピソードを引き出し会場をわかせた。

## 丸岩推工創立50周年記念パーティーを開催

アトラクションでは名古屋市内でフラメンコスクールを展開しているフラメンコスタジオ吉岡洵&paso a pasoのみなさんが、ジブシーキングスの名曲であり、ビール会社のCMでも有名な「Volare」などの曲に合わせたフラメンコショーで大いに盛り上がりを見せた。

パーティーの終盤に脇田清司・(株)ウイングス代表取締役が来賓のあいさつで「同社が推進技術のオンリーワン企業としてさらに発展し、創業100年をめざしてほしい」と語り、同社の協力企業9社（アサヒエンジニアリング(株)、(株)イセキ開発工機、(株)インテック、(株)ウイング

ス、国土開発工業(株)、太閤テックス(株)、長野油機(株)、ラサ工業(株)、ラサ商事(株) から代表取締役を退任する岩永会長にこれまで推進業界をけん引してきた功績に対し感謝状と記念品が贈呈された。

さいごに岩永会長が「50年間ありがとうございました。これからは<sup>せがれ</sup>倅（岩永社長）が先頭に立って日本一の推進業者を目指し会社を盛り上げていきたいと思います。これからも引き続きよろしくお願いします。本日はありがとうございました」とパーティーを締めくくった。



▲ 移転新築した関東支店

後日、創立50周年記念事業について岩永社長に伺うと「数年前から準備をはじめました。今年の4月1日に関東支店を移転・新築したのもそのひとつ。記念パーティーは、これまで当社を支えていただいた協力企業の方々への感謝の気持ちをお伝える場として考えていました。もうひとつは私の父でもある会長が50年間続けてきた代表取締役を退くことになったので、息子の私からの感謝の気持ちを伝える場にもしたかったのです。多くの来賓の方を招くのでみなさんにおはなしをいただくために、素早く乾杯をしたあとに、4人ずつ2回に分けて登壇いただきパネルディスカッションという形にしました。本当はもっと辛辣なことを言っていたほうが会場がわくわくと期待していたのですが……進行役の大橋さ



▲ 社員とその家族、万平ホテルにて

んがうまく誘導していただいたので会長への感謝の気持ちを伝えることができたのではないかと思います。一番大切な社員には記念の品ではなく、何か心に残るものと考え、記念パーティーの週末の5月18日から1泊2日で社員と社員の家族を含めた記念旅行を企画しました。軽井沢の老舗ホテルの万平ホテルに、1年半前に直接出向きご相談させていただき、約50部屋を確保しました。旅行当日は本社と三重、岐阜、関東支店からバスを仕立て、ホテルに到着して全員で集合写真を撮る以外は夕食も含め翌日のバスの出発まではすべて自由行動としました。それぞれリラックスした時間を過ごしてもらったようで、良い思い出になったのではないかと思います」と記念事業への思いを語った。